

「古着deワクチン」は私が学年のみんなの前でプレゼンテーションを行い、意図や自分の思いを伝えました。参加しやすいように、集める時期も衣替えに合わせています。使えない衣服だと現地で廃棄され、かえって環境汚染につながるおそれがあるので1着ずつ確認しながら発送しました。

西谷さん 「エコキャップ運動」では、みんなに関心を持ってもらえるように、生徒会通信はもちろんですが、ポスターの掲示や朝礼での呼び掛けを行いました。あと回収箱を作成するとき、「この辺なら500個」と見ただけで集まっている量が分かるように工夫しました。

朝礼で集まった個数を報告するときも、単に個数を伝えるだけでなく「ワクチン何回分が集まった」と分かりやすく説明することを心掛けました。最初は2～3カ月の予定で活動を始めましたが、あまりにも多く集まったので、常設した方がいいと判断して現在も活動を続けています。



渡辺さん／西谷さん

阿部さん 「花いっぱい運動」では、水やりを欠かさず、枯れた花はこまめに摘み取っていました。

そうすることで長く花を咲かせることができるからです。

「牛乳パックで和紙作り」では、牛乳パックを丁寧に洗い、内側のコーティングをきれいに剥がすことを心掛けました。この作業を行うことで、でき上がった和紙が美しく仕上がります。

市長 皆さんのお話に共通しているのは、無理にではなく普段から楽しみながらやっていこうという姿勢ですね。楽しみながら苦にならないように続けていくのは、長続きさせる秘訣だと思います。そういう気持ちでこれからもお願いします。

Q3 西東京市をどんなまちにしたいですか？

深瀬さん まずは多くの方に私たちの活動を知っていただきたいと考えています。そして西東京市の市民みんなで一丸となってSDGsの目標に向けて取り組んでいけるようになります。今回、私たちは表彰していただきましたが、ほかにもSDGsや環境を意識して活動している方はたくさんいると思うので、協力できることがあれば一緒にやりたいと思います。自然環境だけでなく、さまざまな立場の人やものに優しい、誰もが幸せに暮らしていけるまちにしていきたいですね。

渡辺さん 私たちの学校で「エコキャップ運動」や「使い捨てカイロ回収」などの取組をしているので、誰でもできて気軽に参加することができることを多くの人に知ってほしいと思います。あとはキャッ

プやカイロはごみとして普通に処分するとCO₂などを排出してしまうと思いますが、取組を行うことでそのごみがワクチンなど人を救うものになることも知ってほしいですね。

江副さん 私はもっと緑を増やして、地球温暖化防止にもつながる住みやすいまち、きれいなまちにしたいと考えています。3R (Reduce、Reuse、Recycle) がしっかりできている、資源を大切にするまちにしたいと思っています。



江副さん／阿部さん

市長 みんなが幸せに暮らせるとか、人やものに優しいまちとは、全ての人に優しいということになると思います。「古着deワクチン」や「エコキャップ運動」でワクチンを届けて世界の子どもたちを救うという優しさは大切にしたいですね。また、「花いっぱい運動」や「牛乳パックから和紙作り」のような身近な日々の取組も大切です。皆さんの活動は周囲の人も見ているので、自信を持って続けていってください。

本日はありがとうございました。



市長から皆さんへ

皆さんの活動が、いろいろなところでさまざまな効果を発揮していることを知ることができました。併せて、皆さんがしっかりと目的や意識を持って行動していることを強く感じ、私も、改めてその姿勢を学ばせていただきました。

西東京市ゼロカーボンシティ宣言では、小学5年生が考案した「いつまでも元気な地球守りたい きれいな地球を未来の人へ」をサブタイトルとしています。

今、私を含めた社会を担っている世代の人たちが、次世代を担う皆さんへの責任ある行動となるよう、これまで以上にSDGsを実行していきたいと思っています。

皆さんは、まもなく卒業を迎えられますが、高校生に、そして大人になっても、未来への意識を大切に、これからもいろいろな事に取り組んでいかれることを願っています。

